

第2章

基本理念、施策展開の方向性、施策体系等

第2章 基本理念、施策展開の方向性、施策体系等

1 基本理念

高齢者が健康で生きがいをもって活躍し続けられるとともに、
いつまでも住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる奈良県を目指す

この基本理念を実現するため、2040年を見据えながら、地域の実情や特性とその変化に応じ、制度・分野ごとの「縦割り」や「支え手」「受け手」という関係を超えて、住民や地域の多様な主体が参画し、それぞれ的人格と個性を尊重しながら、世代や分野を超えてつながることで、住民一人一人の暮らしと生きがい、地域をともに創っていく地域共生社会の実現を図ります。

また、県民が、いつまでも健康で生きがいを持って過ごすことができるように、たとえ介護が必要になってもその人らしく暮らしていくことができるように、からだ、こころ、社会とのかかわりの3つの視点からの健康づくりを支援します。

さらに、高齢者一人一人が、住み慣れた地域で尊厳を持って暮らし続けられるように、元気な時期、フレイル期、要介護期、終末期とそれぞれのライフステージに応じて、可能な限り本人の意思決定を基本に、家族等と十分話し合いながら、住まいや医療・介護サービスや生活支援等が柔軟に選択できるよう、支援体制や環境の構築を推進します。

- 下図は、主として利用する可能性が高いサービス等の一般的な例を表現したものです。
- 実際には、地域における支援や行政の連携体制等は、図のように明確な線引きにより区切られるものではありません。

ライフステージに応じた地域包括ケアシステムのイメージ

		健康	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	
サービス種別	居住系	地域	高齢者が社会参加し、いきいきと活動できる環境づくりの推進							
			「通いの場」の普及等健康的な生活習慣の推進							
			支え合いの地域の推進、高齢者の権利利益の保護、ACP(人生会議)の普及・啓発							
			介護予防・日常生活支援総合事業等の充実							
			認知症への理解を促進、認知症の人や家族への支援、認知症の人への意思決定の支援や権利利益の保護、早期発見及び早期対応の推進							
	在宅介護	在宅(介護予防含む)サービス、看護・小規模多機能等複合型サービス							緩和ケア・看取りの在宅医療・介護	
	在宅医療	外来通院、検診等 健康増進・維持に係る啓発等(診療所医師等)		在宅医療(診療所医師等による訪問診療・往診)			緩和ケア・看取りの在宅医療・介護 その他の在宅医療(訪問看護・訪問リハ・訪問歯科・訪問薬剤等)			
	連携体制		病院と在宅を繋ぐ連携体制の整備・充実、地域ケア会議の充実							
			自立支援型地域ケア会議の充実							
	施設系	施設等介護	住まいとしての施設(サ高住、有料老人ホーム、グループホーム等)						特別養護老人ホーム	
			介護老人保健施設、介護医療院							

2 施策展開の方向性

【2つの柱での施策展開】

基本理念の実現に向けて、以下の2つを柱として、施策の方向性を定め、体系的な事業展開を図ります。

① 地域包括ケアシステムの深化・推進

令和7（2025）年に団塊の世代が75歳以上の後期高齢期を迎え、また令和22（2040）年には団塊ジュニア世代が65歳以上の高齢期を迎えることから、今後、介護や医療を必要とする方の増加が見込まれます。そのため、たとえ介護が必要になっても、地域の実情に応じて、高齢者が尊厳を保持し、生活の質の維持・向上を図りつつ、可能な限り住み慣れた地域で安心してその有する能力に応じて自立した日常生活を営み暮らし続けることができるよう、医療、介護、介護予防、住まい及び日常生活の支援が包括的に確保される「地域包括ケアシステム」の深化・推進を図ります。

地域包括ケアシステムは、今後、高齢化が一層進む中で、地域共生社会を実現する上での欠かせない基盤であり、制度・分野の垣根を越えて、地域住民、市町村、関係者、関係機関・団体の連携・協働のもと、高齢者支援をはじめとする地域生活課題の解決に資する支援や支え合いが包括的に取り組まれる地域づくりをめざします。

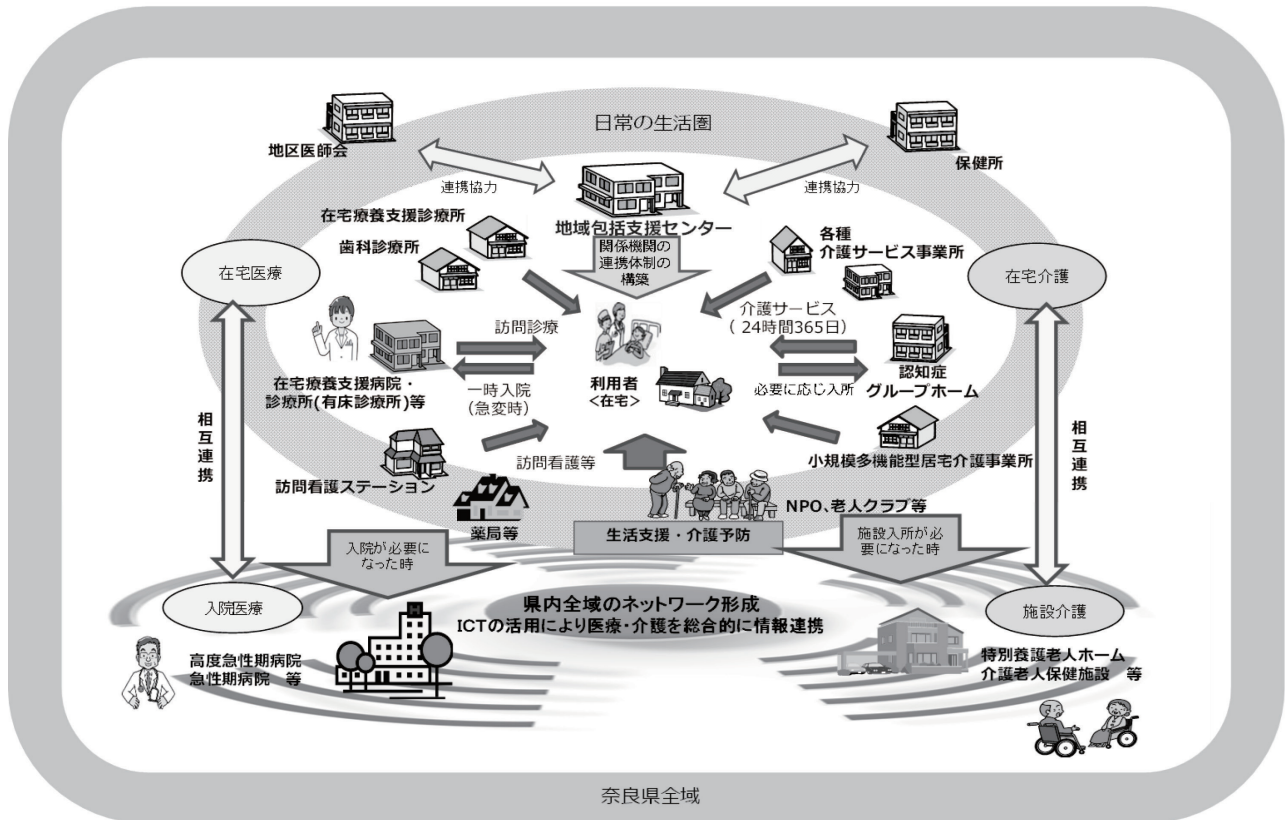
② 介護保険制度の持続可能性の確保

高齢化の進展に伴う要介護者の増加等により介護ニーズが増大するとともに、高齢独居世帯や高齢夫婦世帯の増加、介護者の高齢化などの進行に伴い、高齢者を支える介護保険制度の役割がますます重要になっています。このような状況を踏まえ、国においては、介護保険制度の持続可能性を確保する観点から、今後の介護給付費の増加を見据え、令和6年度より1号保険料の標準段階を9段階から13段階へ多段階化する見直しを行いました。

県においても、介護サービス基盤の充実とサービスの質の向上を図るとともに、介護保険制度が将来にわたり持続的・安定的に運営されるよう、介護人材の確保と資質の向上、介護認定・介護給付の適正化の取組を推進します。また、介護サービスが、高齢者の自立支援、重度化防止、要介護度の軽減に繋がるよう、過不足なく効果的・効率的に提供される取組を推進します。

【参考】

地域包括ケアシステムの構築イメージ



地域包括ケアシステムとは、高齢者がたとえ介護が必要になっても、可能な限り住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、医療、介護、介護予防、住まい及び日常生活の支援が包括的に確保される仕組みです。

高齢者が最期まで自分らしく生きることを支援するため、本人の状態や家族の状況等に応じ、可能な限り本人の意思決定を基本に、家族等と十分話し合いながら、住まいや医療・介護等のサービスが柔軟に選択できるよう、支援体制や環境の構築を推進します。

市町村が保険者機能を発揮し、様々な関係機関・団体と連携体制を構築することにより、高齢者の在宅生活に必要な医療サービス、介護サービス、リハビリテーションや、生活支援サービス等の多様な実施主体による提供を目指します。

【地域包括ケアシステムの「植木鉢」】

「すまいとすまい方」を地域での生活の基盤をなす「植木鉢」に例えると、「介護予防・生活支援」は、養分を含んだ「土」と考えることができます。「介護予防・生活支援」という「土」がない（機能しない）ところでは、専門職の提供する「医療」や「介護」「保健・福祉」を植えても、それらは十分な力を発揮することなく、枯れてしまいます。さらに、これらの植木鉢と土、葉は「本人の選択と本人・家族の心構え」の上に成り立っています。



出典) 平成 28 年 3 月地域包括ケア研究会報告書より

3 施策体系

奈良県 高齢者福祉計画・第9期介護保険事業支援計画・認知症施策推進計画の施策体系

施策の柱	施策の方向性	施策の展開	
<p>地域包括ケアシステムの 深化・推進</p>	1 在宅サービスの充実	在宅(介護予防含む)サービス、看護・小規模多機能等複合型サービス等の充実	
	2 多様な住まいの整備促進	住まいとしての施設(ケア高住、有料老人ホーム、グループホーム等)の整備	
	I 多様な介護サービス等の充実	3 施設サービスの整備・推進	特別養護老人ホームの整備と地域の実情に応じた運営の推進 介護老人保健施設、介護医療院の整備によるリハビリや医療的ケア体制整備 施設等の災害及び感染症対策の強化
		4 在宅医療等の連携体制の整備・充実	在宅医療(診療所医師等による訪問診療・往診)の整備・充実 その他の在宅医療(訪問看護、訪問リハ、訪問歯科・訪問薬剤等)の充実
		5 在宅看取りの普及・啓発と促進	緩和ケア・看取りを支える在宅医療・介護の促進
	II 在宅医療サービスの充実	6 多様な専門職による、医療・介護の連携体制の構築	病院と在宅を繋ぐ連携体制の整備・充実及び地域ケア会議の充実
		7 高齢者が自分らしく、安心して暮らせる環境の整備	支え合いの地域づくりの推進、高齢者の権利利益の保護、ACP(人生会議)の普及・啓発
	III 生活支援サービスの充実	8 多様な生活支援サービスの充実	介護予防・日常生活支援総合事業等の充実
	IV 認知症施策の推進 [奈良県認知症施策推進計画]	9 認知症の人にやさしい地域づくりの推進	地域における認知症の正しい理解の普及、認知症の人やその家族の思いを発言する機会の創出 認知症の人の意思決定の支援及び権利利益の保護
		10 適時適切な医療・介護等の提供	早期発見及び早期対応についての体制の整備、認知症ケアに関わる人への支援の推進
		11 高齢者の社会参加	高齢者が社会参加し、いきいきと活動できる環境づくりの推進
	V 介護予防の充実	12 健康増進や介護予防の取組の強化	「通いの場」の普及等健康的な生活習慣の推進
		13 自立支援・重度化防止の推進	地域ケア会議の充実、地域リハビリテーション支援体制の構築
	VI 介護人材の確保、介護現場の 生産性向上の推進	14 多様な介護人材の確保・育成・定着	介護人材の確保・育成・定着の取組や外国人材の確保に向けた取組の充実 働きやすく、魅力的な介護職場づくりと介護人材が活躍できる仕組みづくり
		15 生産性向上の取組の一層の推進	生産性向上に向けた業務改善、適正なサービス提供のためのデジタル化の推進 介護ロボット・ICT等の導入促進及び活用の定着
		16 介護認定の適正化	認定調査員の資質向上と認定調査の市町村間の標準化を推進
		17 介護給付の適正化	介護給付に見られる地域差の要因分析による適切な介護サービスの利用を促進

**介護保険制度の
持続可能性の確保**

